

21世紀金融行動原則 署名機関外秘  
資料の取り扱いにはご注意ください



# 21世紀金融行動原則

2020年7月3日-10日実施

## 署名機関二一ズ調査 結果報告

2020.7.28

21世紀金融行動原則事務局

# 調査概要

## ●目的：

21世紀金融行動原則は、発足から9年経過した現在、286機関（2020.7.3時点）が署名し、活動エリアや業務内容も各々異なる。また、新型コロナウイルス感染拡大やその対策による影響により、各機関の業務体制にも変化がみられる。そこで、10周年を目前とした今年度、21世紀金融行動原則の活動をより署名機関の皆様のニーズに則したものに改善することを目的に本調査を実施する。

## ●実施方法：Webアンケート

## ●対象：全署名機関

- ・回答は任意。回答者の機関名、氏名の入力も任意
- ・機関としての回答ではなく、担当者様個人の回答を推奨

## ●回答期間：2020年7月3日（金）～10日（金）

## ●回答件数：90件

## ●回答者属性（所属機関の所属WGおよび勤務地）：P2に記載

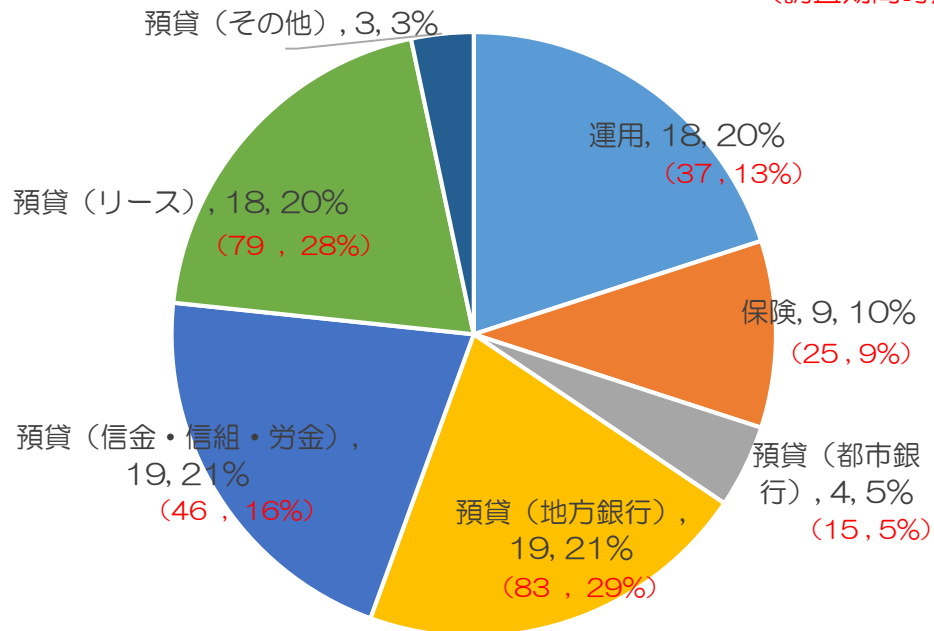
## ●結果報告方法

今年度の運営に関わるような結果は、21世紀金融行動原則のWebサイトの署名機関限定のページで一部公開させていただく場合あり。ただし全ての回答について、機関名や個人が特定される内容は公表しないものとする。

# 回答者属性

## ● 主な所属WG (回答者数：90名)

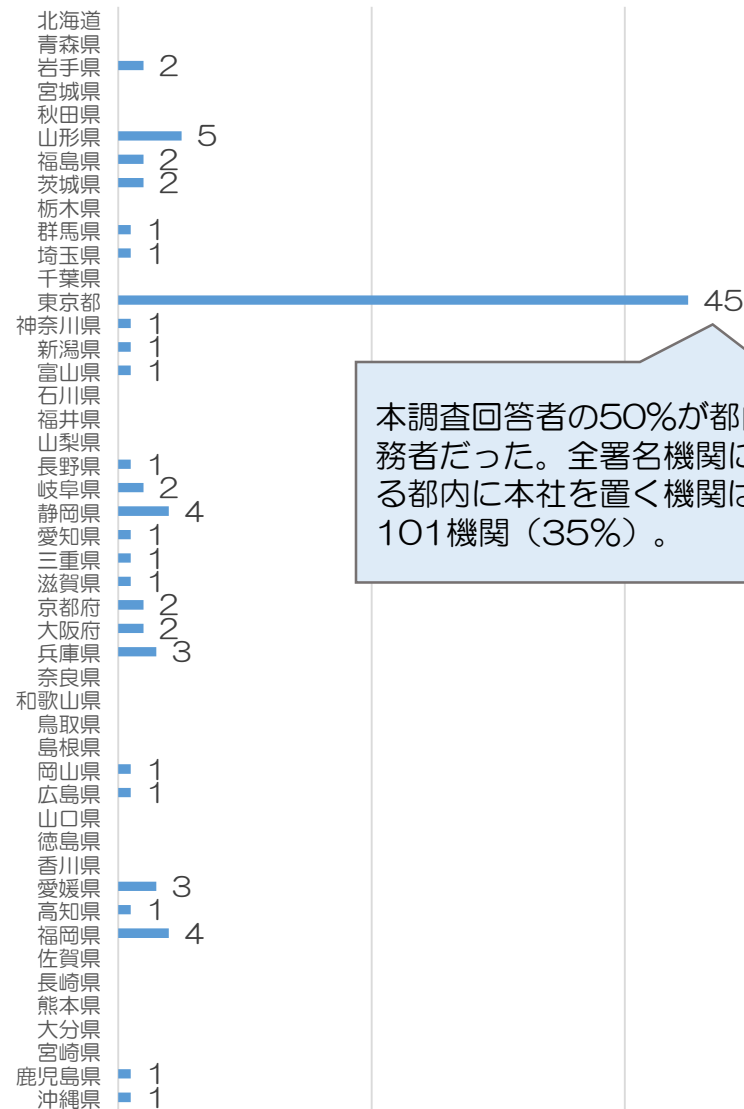
※赤字括弧内は全署名機関の機関数,割合  
(調査期間時点)



- 運用
- 預貸 (都市銀行)
- 預貸 (信金・信組・労金)
- 預貸 (その他)
- 保険
- 預貸 (地方銀行)
- 預貸 (リース)

運用、預貸 (信金・信組・労金) の回答率が高く、  
預貸 (地方銀行)、預貸 (リース) が少し低い。

## ● 回答者の勤務地 (回答者数：90名)



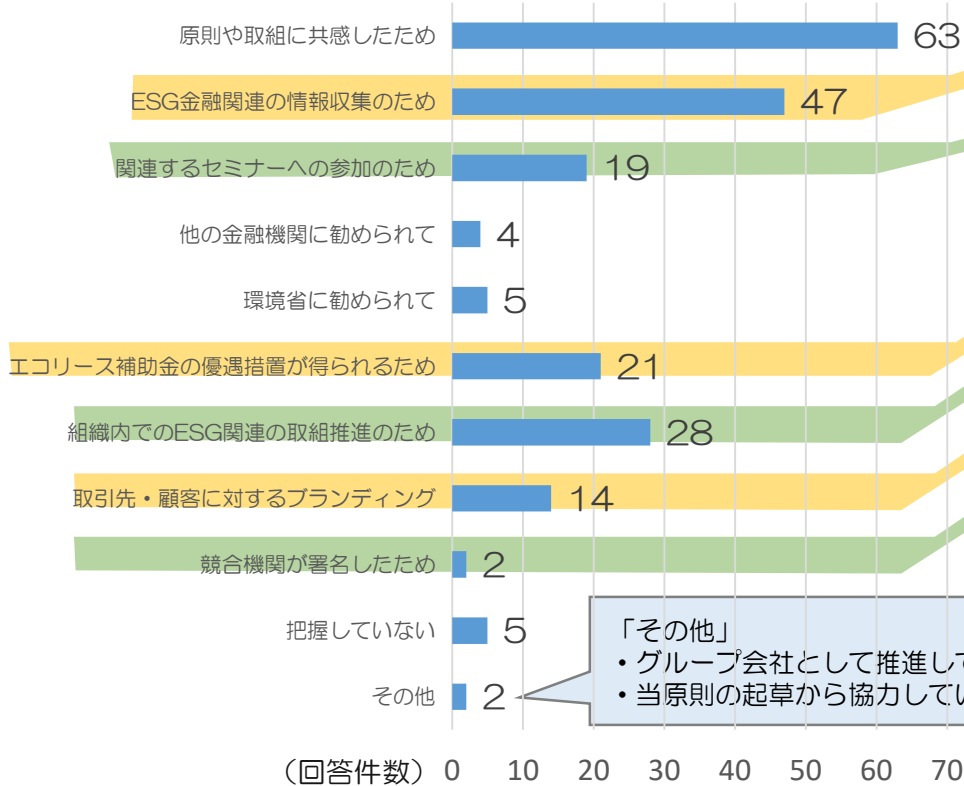
本調査回答者の50%が都内勤務者だった。全署名機関に占める都内に本社を置く機関は101機関 (35%)。

# 調査結果：署名理由・経緯とメリット

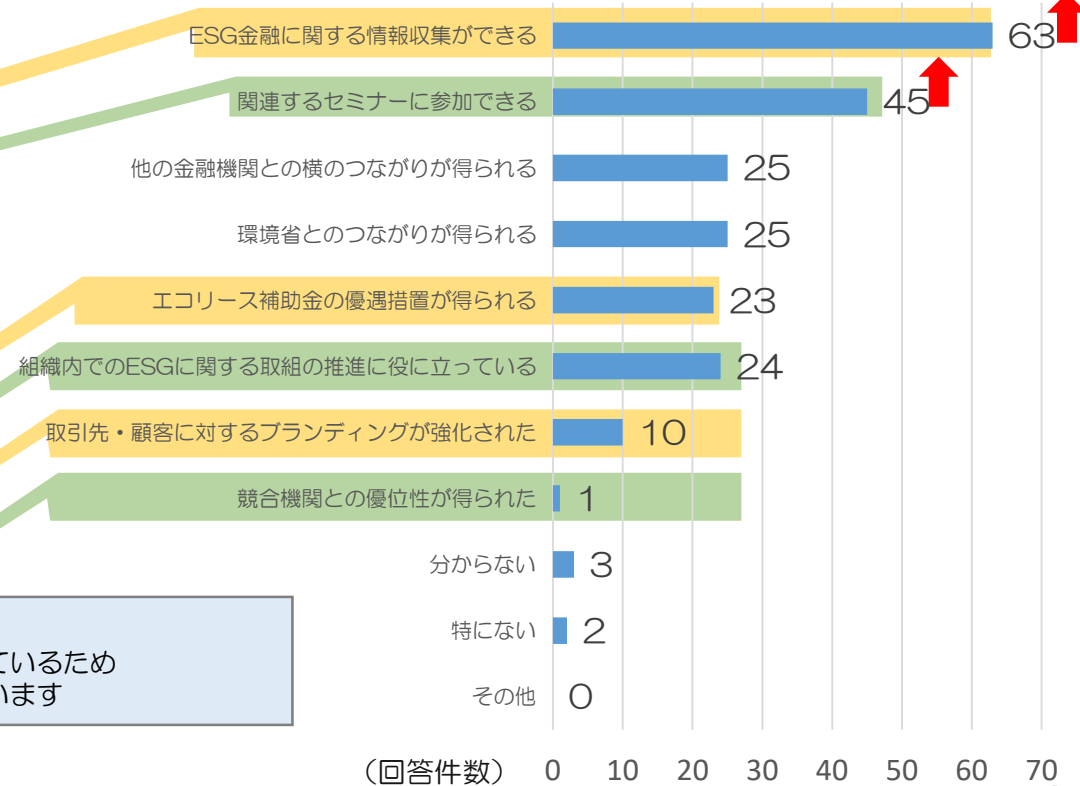
●「21世紀金融行動原則に署名した理由や経緯（設問1-1）」は「原則に共感」「情報収集」「組織内でのESG関連の取組促進」のため、が多かった。「エコリース補助金の優遇措置」は21%であり、リース会社は回答者の20%なので、ほぼ全機関の署名理由・経緯に含まれていた。

●設問1-1と1-2を比較すると、「ESG金融関連の情報収集」「関連するセミナーへの参加」は署名の理由・経緯よりもメリットの回答が多く、署名当初の期待を上回ったと考えられる。その他の項目に大きな差異はなかった。

設問1-1 21世紀金融行動原則に署名した理由や経緯は何ですか。（複数選択可/回答者数：90名）



設問1-2 21世紀金融行動原則に署名していることにより得られているメリットは何ですか。（複数選択可/回答者数：90名）



# 調査結果：サービスの満足度が高い団体

- 21世紀金融行動原則以外に署名・加盟している団体等の中では、PRIのサービスに満足しているという回答が最も多かった。※参考情報：2020/5/31時点21世紀金融行動原則署名機関中PRI署名機関は31機関。
- リース事業協会も、預貸（リース）所属の回答者が18名のところ20名が満足度が高いと回答。

設問1-3 21世紀金融行動原則以外に署名しているイニシアチブ、加盟している団体・協会でサービスの満足度の高い（費用に見合ったまたはそれ以上のサービスを受けていると感じる）団体等があれば教えてください。（複数選択可/回答者数90名）

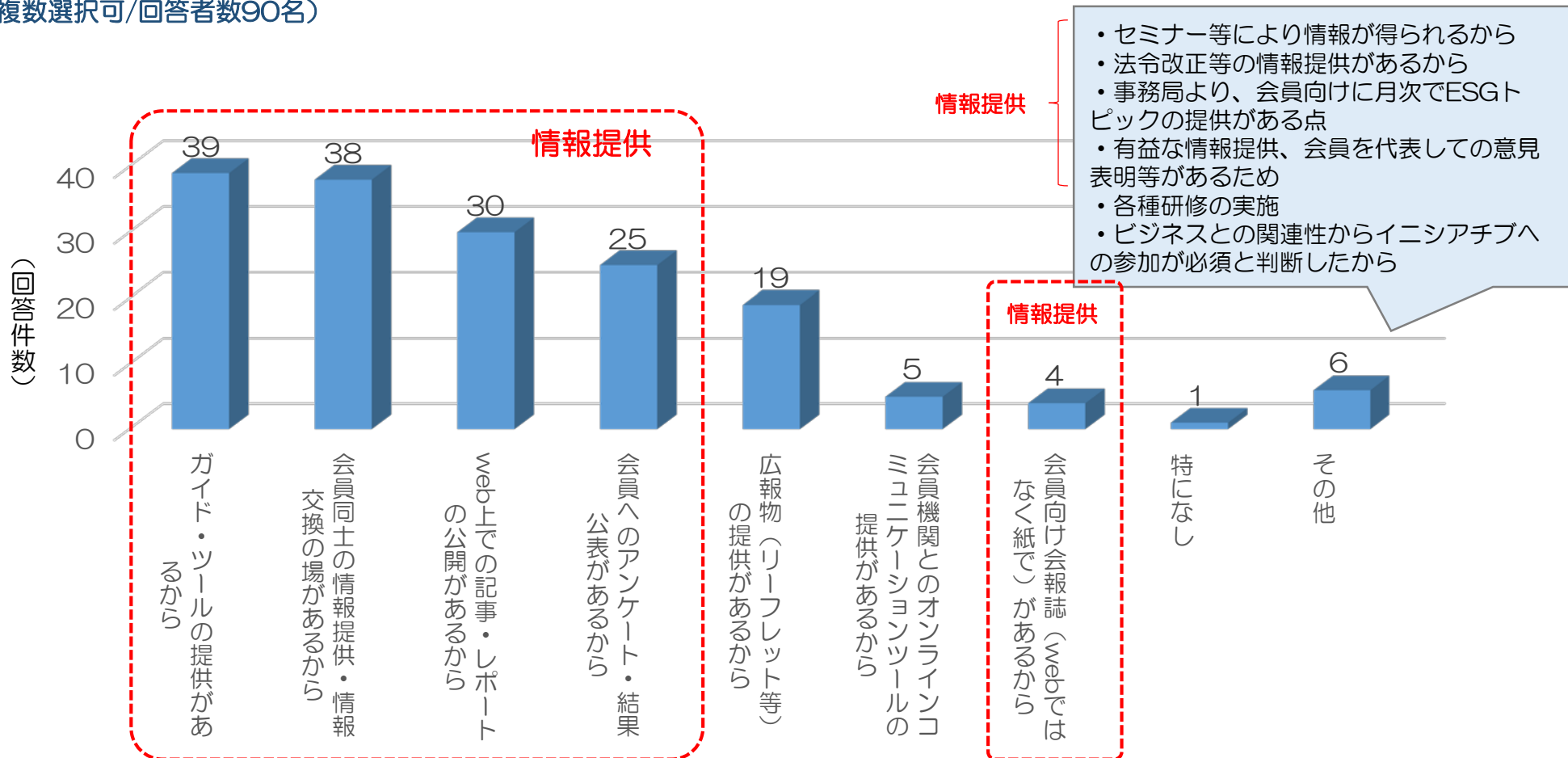
順位	団体・協会等の名称	回答数
1	PRI（責任投資原則）	24
2	リース事業協会	20
3	TCFDコンソーシアム	19
4	全国銀行協会	16
5	CDP	12
6	全国信用金庫協会	11
6	UNEP FI	11
8	特になし	10
9	全国地方銀行協会	8
9	投資信託協会	8
11	不動産証券化協会	7
12	日本投資顧問業協会	6

順位	団体・協会等の名称	回答数
12	第二地方銀行協会	6
14	日本証券投資顧問業協会	5
15	生命保険協会	4
15	エクエーター原則（赤道原則）	4
15	PSI（持続可能な保険原則）	4
18	PRB（責任銀行原則）	3
18	全国信用組合中央協会	3
20	全国労働金庫協会	2
20	日本損害保険協会	2
20	日本貸金業協会	2
その他（日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）、Asian Corporate Governance Association、30% Club Japan Investor Group、Climate Action 100+、SBT-FI、日本クレジット協会、GABV、JPBV、国連グローバル・コンパクト（UNGC）		

# 調査結果：その団体の満足度が高い理由

●設問1-3（前ページ）で満足度の高い理由は、「ガイド・ツールの提供があるから」「会員同士の情報提供・情報交換の場があるから」など情報提供への満足度の高さによるものだった。

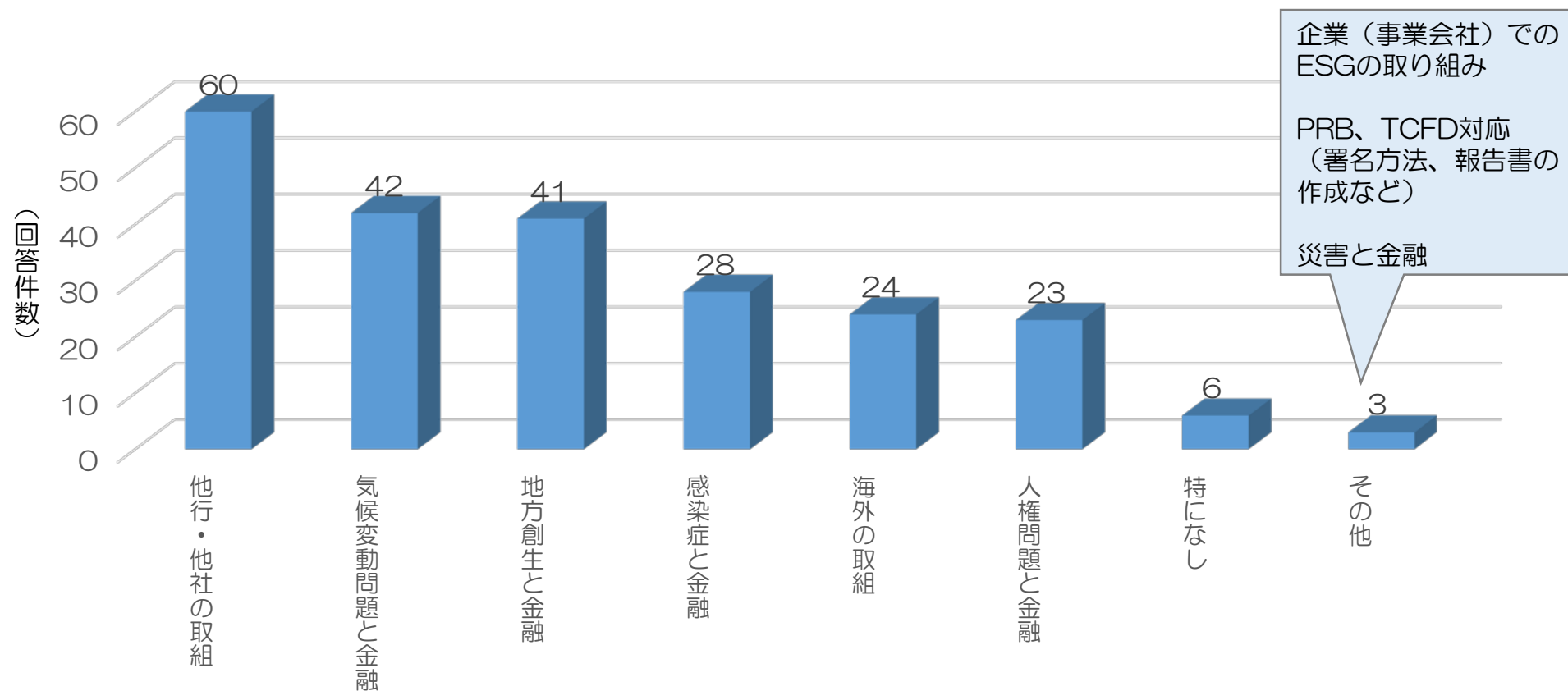
設問1-3 21世紀金融行動原則以外に署名しているイニシアチブ、加盟している団体・協会でサービスの満足度の高い（費用に見合ったまたはそれ以上のサービスを受けていると感じる）団体等があればその理由を教えてください。  
（複数選択可/回答者数90名）



# 調査結果：総会・意見交換会のテーマ

●総会・意見交換会での希望のテーマは「他行・他社の取組」が最も多く、次いで「気候変動問題と金融」「地方創生と金融」が多かった。

設問2-1 総会・意見交換会等で取り扱ってほしいテーマを教えてください。（複数選択可/回答者数90名）



# 調査結果：運用WGのテーマ

●運用・証券・投資銀行WGで取り扱ってほしいテーマを自由回答にて尋ねたところ、下記のような回答があった。

設問2-2 運用・証券・投資銀行ワーキンググループで取り扱ってほしいテーマがあればご記入ください。  
(自由回答/回答者数10名)

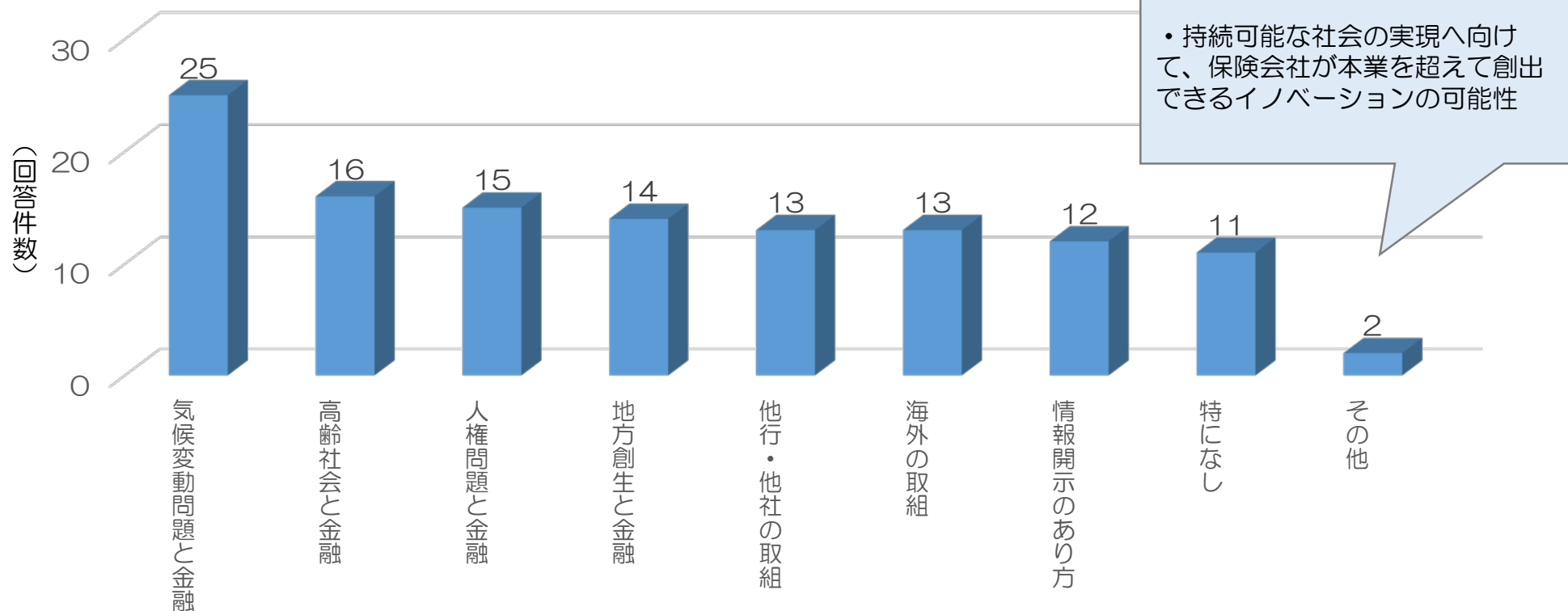
- ESG投資の有効性（2名）
- ESG融資のニーズや国内事例（制度だけでなく利用状況含めて）など
- 運用会社等でのESG投資への取り組み。ESG投資に関する新たな動向・潮流等
- ESG,SDGsへの取り組み事例の共有
- 地域創生とESG
- 感染症、ESGのS、気候変動関連
- アフターコロナのESG投資
- 企業価値向上のための情報開示方法  
(投資される側として、組織づくりや戦略・対策に活用したい)
- EUの政策等、海外の動向や、情報開示、投資家と企業との対話) について。



# 調査結果：保険WGのテーマ

●保険WGで取り扱ってほしいテーマを選択式で尋ねたところ、「気候変動問題と金融」が最も多く、次いで「高齢者問題と金融」「人権問題と金融」と「S」に関するテーマも希望が多かった。

設問2-3 保険ワーキンググループで取り扱ってほしいテーマを教えてください。  
(複数選択可/回答者数48名)



# 調査結果：預貸WGのテーマ

●預金・貸出・リースWGで取り扱ってほしいテーマを自由回答にて尋ねたところ、下記のような回答があった。

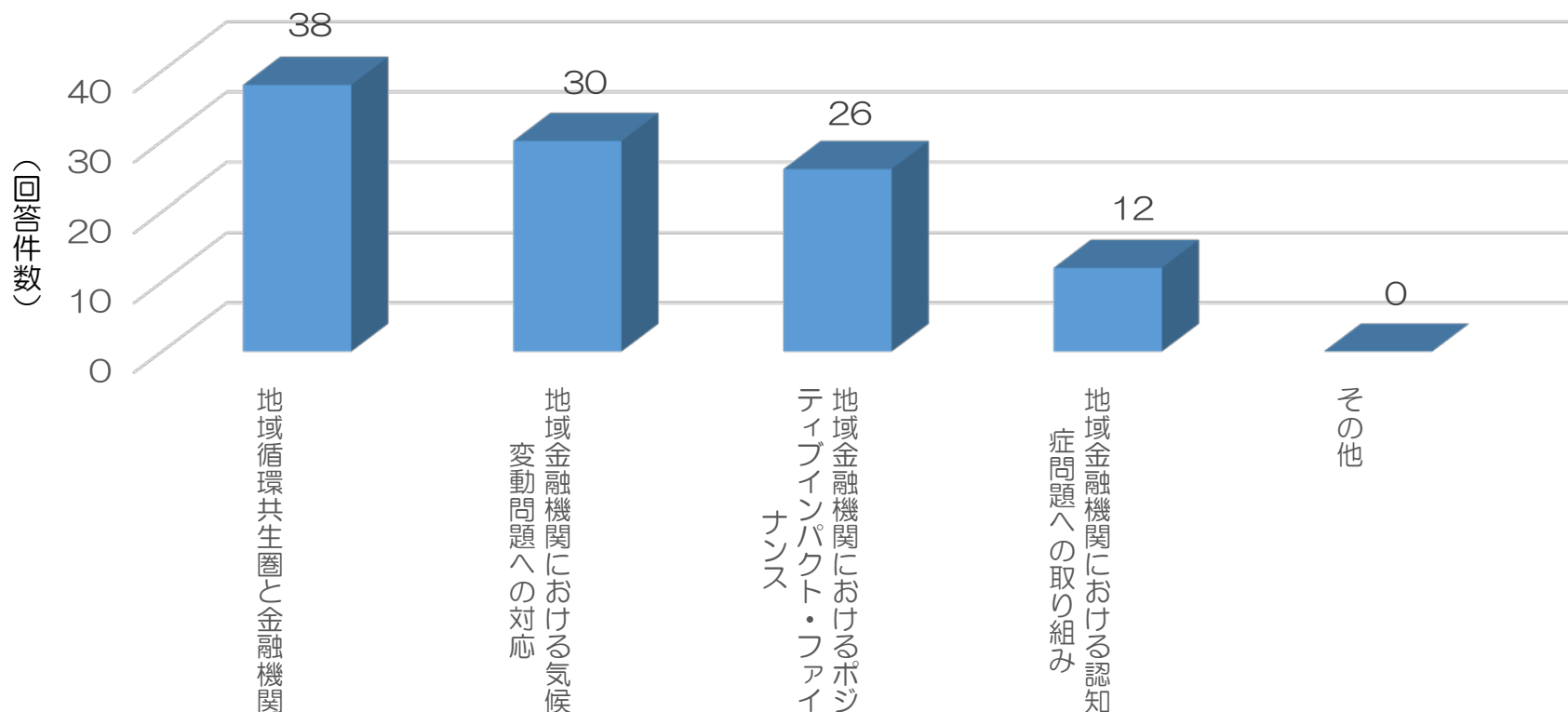
設問2-4 預金・貸出・リースワーキンググループで取り扱ってほしいテーマがあればご記入ください。  
(自由回答/回答者数7名)

- 地域ESG金融の実践例、金融を通じた気候変動や社会課題への取り組み、顧客企業との対話など。
- 中小企業へのESG金融の事例
- SDGs・ESG金融
- 感染症、ESGのS、気候変動関連
- 企業価値向上のための情報開示と、そのための組織づくり（組織内の調整）の方法
- リース会計のIFRS変更  
(3R促進による改訂を検討中のため、その最新動向を把握したい。)
- アフターコロナ、ウィズコロナにおける持続可能な地域社会づくりについて

# 調査結果：地域支援WGのテーマ

- 持続可能な地域支援WGで取り扱ってほしいテーマを選択式回答にて尋ねたところ、今年度のテーマとして扱う「地域循環共生圏と金融機関」が最も多かった。

設問2-5 持続可能な地域支援ワーキンググループで取り扱ってほしいテーマを教えてください。（複数選択可/回答者数53名）



# 調査結果：環境不動産WGのテーマ

●環境不動産WGで取り扱ってほしいテーマを自由回答にて尋ねたところ、下記のような回答があった。

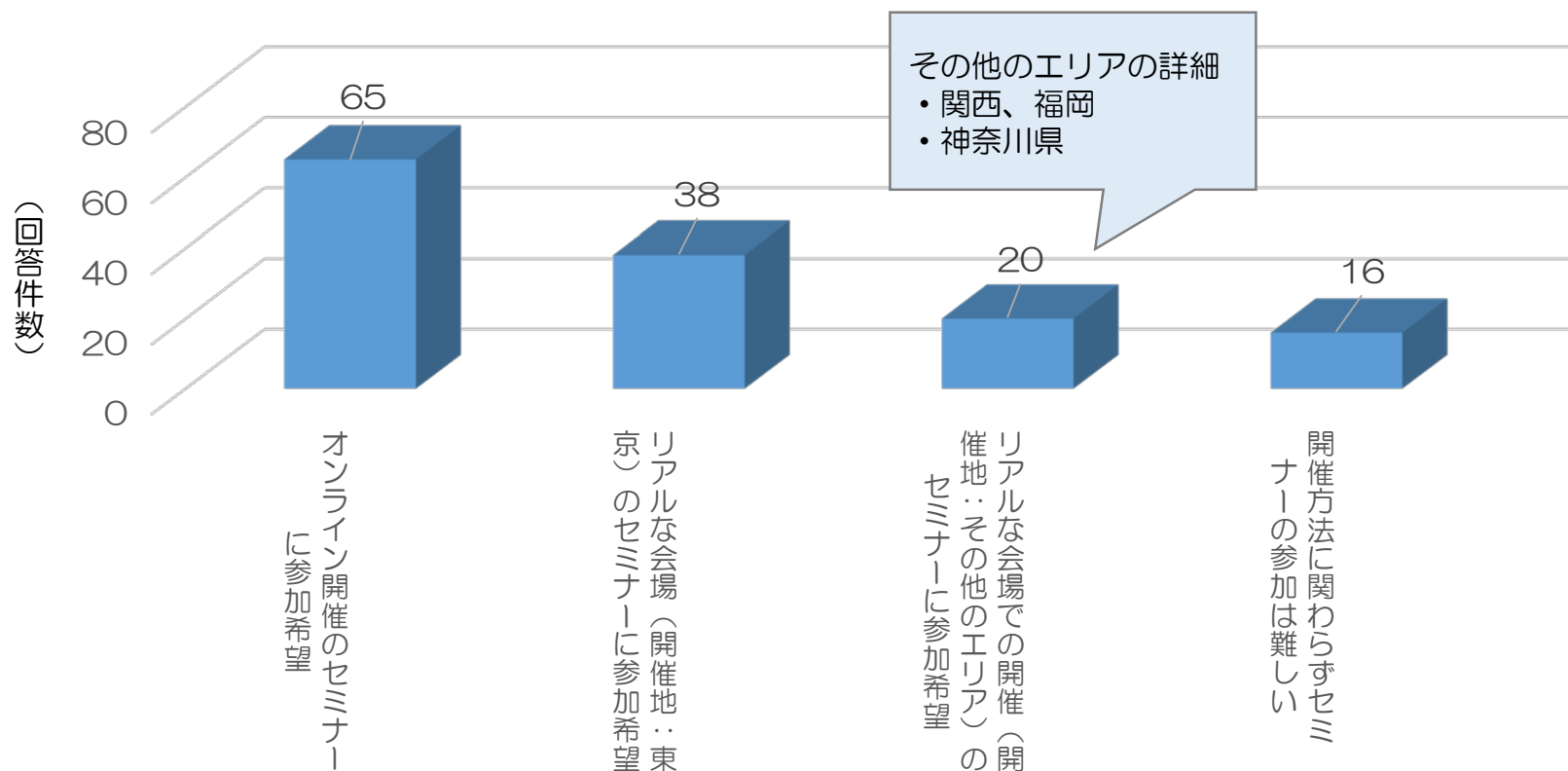
設問2-6 環境不動産ワーキンググループで取り扱ってほしいテーマがあればご記入ください。  
(自由回答/回答者数6名 9件)

- 気候変動問題への対応
- 自社の排出するCO<sub>2</sub>ゼロに向けた具体的方途
- 脱炭素地域のための具体的方途
- 感染症、ESGのS、気候変動関連
- 環境格付の取得について
- TCFD、ポジティブインパクト投資
- TCFDシナリオ分析の不動産金融版
- アフターコロナの不動産、不動産金融のありかた
- (コロナや災害を踏まえて) コミュニティへの貢献

# 調査結果：セミナーの開催方法

●回答者90名中65名（72%）がオンライン開催を希望した。次いで、リアルな会場（開催地：東京）だが、開催地については、本調査の回答者の半数が都内勤務なことが影響しているとも考えられる。

設問3-1 21世紀金融行動原則のセミナーの参加方法について当てはまるものを全て選んでください。  
（複数選択可/回答者数90名）

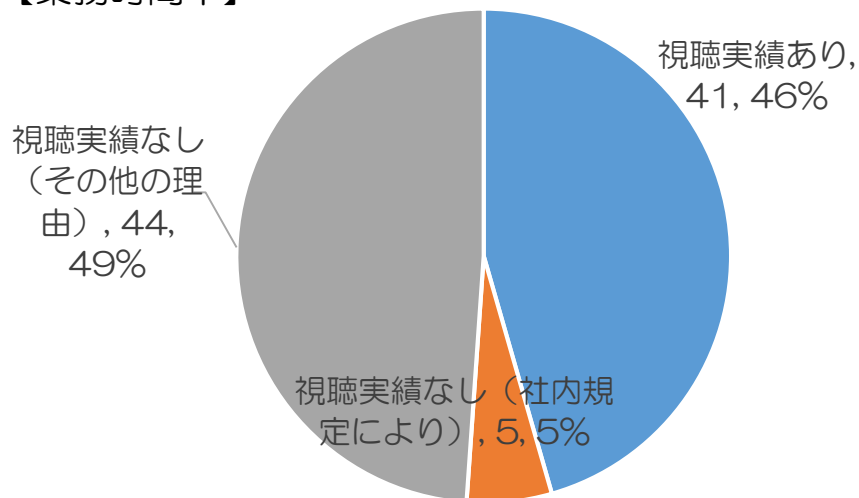


# 調査結果：オンライン参加実績

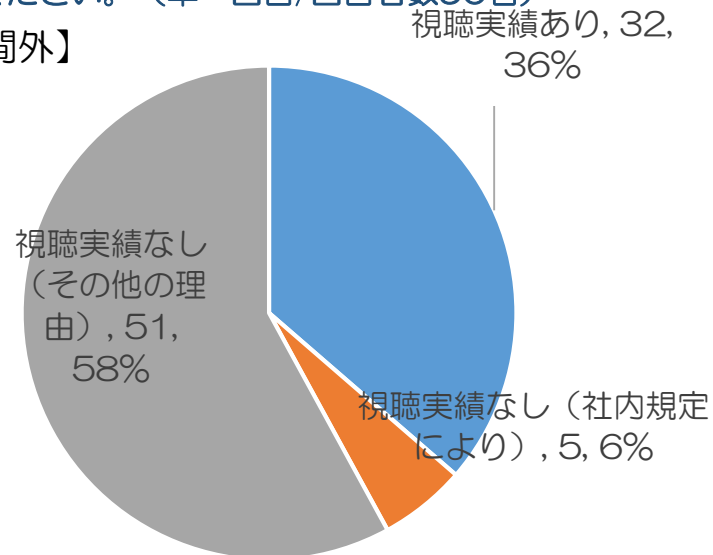
- オンラインセミナーの視聴実績は「あり」と「なし」がそれぞれ半数程度。
- 業務時間内に視聴実績がない理由が「社内規定による」人は5名と少ないため、視聴者増は見込める。

設問3-2 オンラインセミナーの参加実績について、当てはまるものを選んでください。（単一回答/回答者数90名）

【業務時間中】



【業務時間外】



業務時間内/外 いずれかでの視聴実績がある人は**43名 (48%)**

業務時間内/外 いずれも視聴実績がない人は**47名 (53%)**

業務時間内に視聴実績がなく、時間外に実績ありは**2名 (2%)**

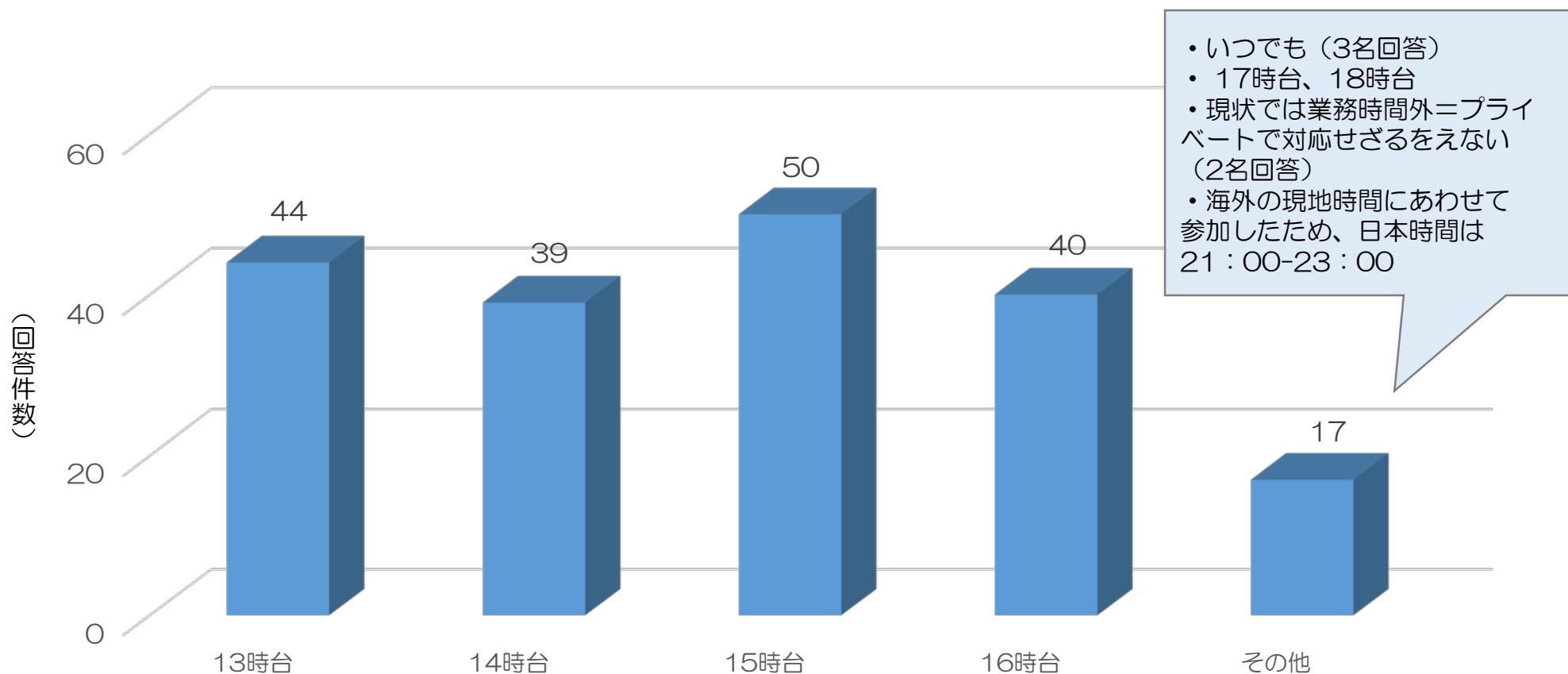
〈視聴実績なし (その他の理由) の詳細〉

- ・視聴できる環境が整っていない (6名回答、うち1名は今は視聴環境有)
- ・これまでに機会がなかったため (4名回答) ・業務多忙で時間がとれない (2名回答、うち1名は1時間以上の視聴は困難)
- ・経験が無いため (2名回答) ・希望のセミナーがなかったため (2名回答)
- ・在任期間が短いため、機会がなかった (2名回答) ・参加可能な職員がいない
- ・現状ではセキュリティ上、社内の機器に配信サービスのDLができないため。在宅勤務時に個人の機器を使用すれば視聴可能。
- ・17時以降の開催がなかったため
- ・オンラインセミナーの内容を把握していない・オンラインセミナーの案内を見落としていた

# 調査結果：視聴希望時間帯

●視聴希望時間帯は15時台が最も多かったが、13時～16時台の間で大きな差はなかった。

設問3-3 オンラインセミナーの開催希望時間帯にあてまるものを全て選んでください。  
(複数選択可/回答者数90名)

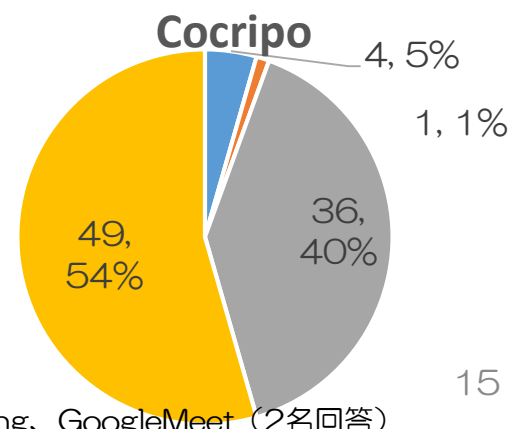
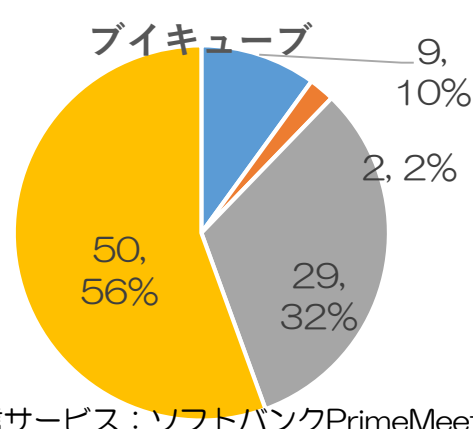
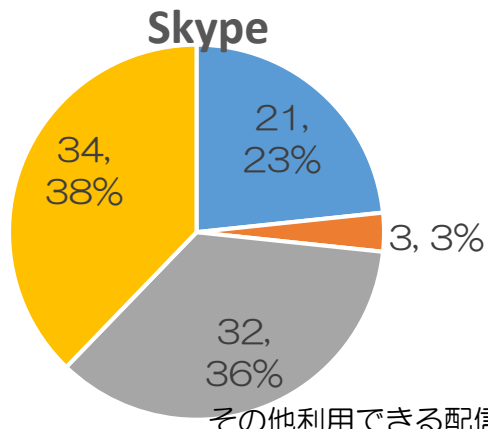
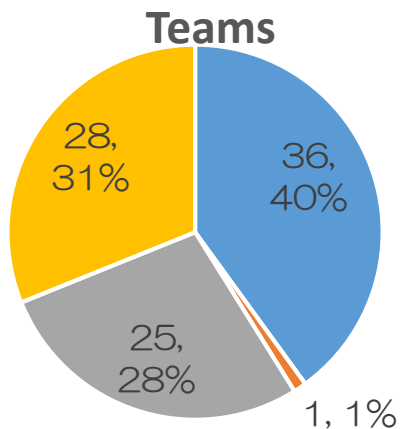
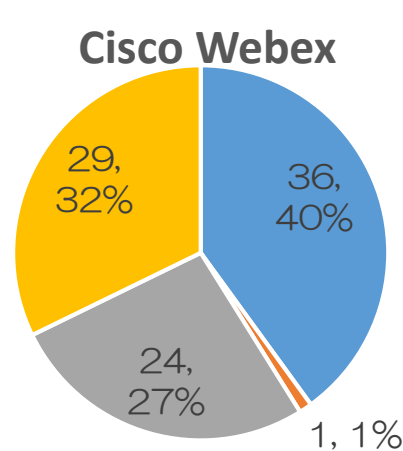
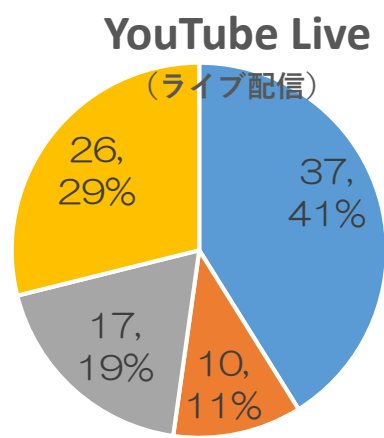
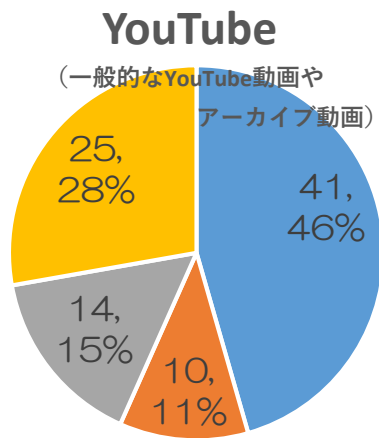
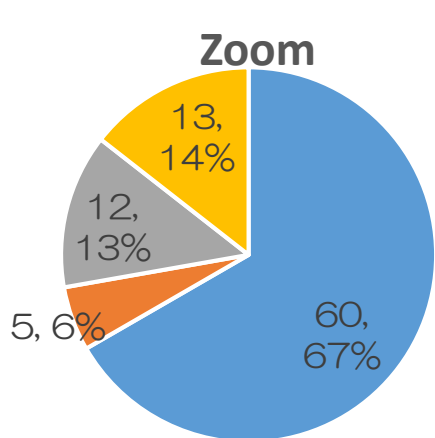


# 調査結果：視聴できる配信サービス

●業務時間内に視聴できる配信サービスは、Zoomが67%、次いで、YouTube 46%、YouTubeLive 41%、WebEXとTeamsが40%だった。

設問3-4 21世紀金融行動原則でオンラインセミナーを実施する場合、下記配信サービスの利用状況や可否をお答えください。  
(単一回答/回答者数90名)

■ 業務時間内に利用できる ■ 業務時間外なら利用できる ■ 利用できる環境がない ■ 利用できるか分からない/知らない



その他利用できる配信サービス：ソフトバンクPrimeMeeting、GoogleMeet (2名回答)



# 調査結果：視聴したオンラインセミナー

●視聴したことがあるオンラインセミナーは、署名・加盟している団体等や報道機関主催のものが多かった。

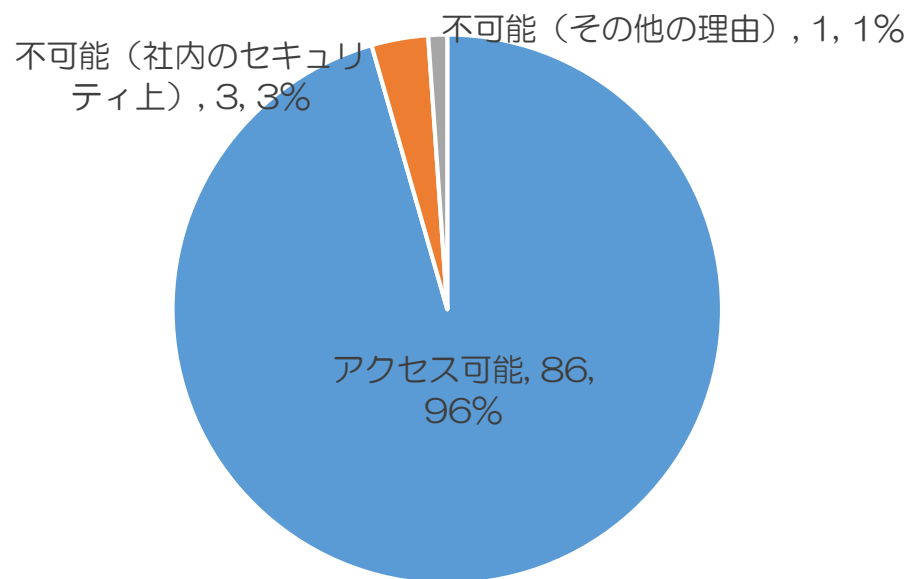
設問3-5 視聴したことがあるオンラインセミナーについて教えてください（セミナー名、テーマ、主催者など）。  
（自由回答/回答者数10名 12件）

- CDP主催セミナー（2名回答）
- PRI主催セミナー
- SBT-FI主催セミナー
- 銀行協会主催セミナー
- 信金中央金庫主催 市場業務研修
- ジャパンスチュワードシップイニシアティブ総会（Zoom使用）
- 時事通信社主催セミナー
- 日経セミナー
- 日経ESGセミナー
- 証券会社主催 ESG関連セミナー
- 補助金セミナー

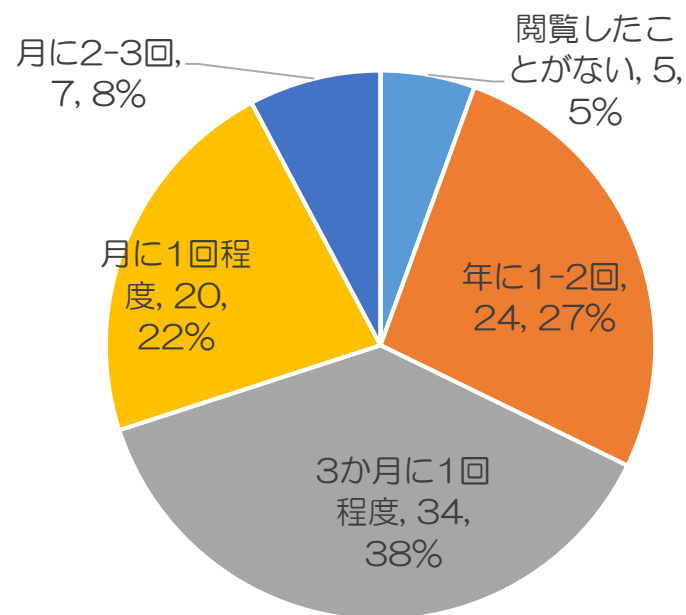
# 調査結果：Webサイトアクセス状況

- 21世紀金融行動原則webサイトにアクセスできない人は4名（4%）だった。
- 月に1回以上アクセスしている人が約3割、3か月に1回以下が約6割だった。

設問4-1 21世紀金融行動原則Webサイトのアクセス可否について教えてください。  
(単一回答/回答者数90名)



設問4-2 21世紀金融行動原則Webサイトの閲覧頻度について教えてください。  
(単数回答/回答者数90名)



# 調査結果：希望のWebコンテンツ

● 21世紀金融行動原則webサイトで充実させてほしいコンテンツやテーマ案として、下記の意欲あふれる案があった。

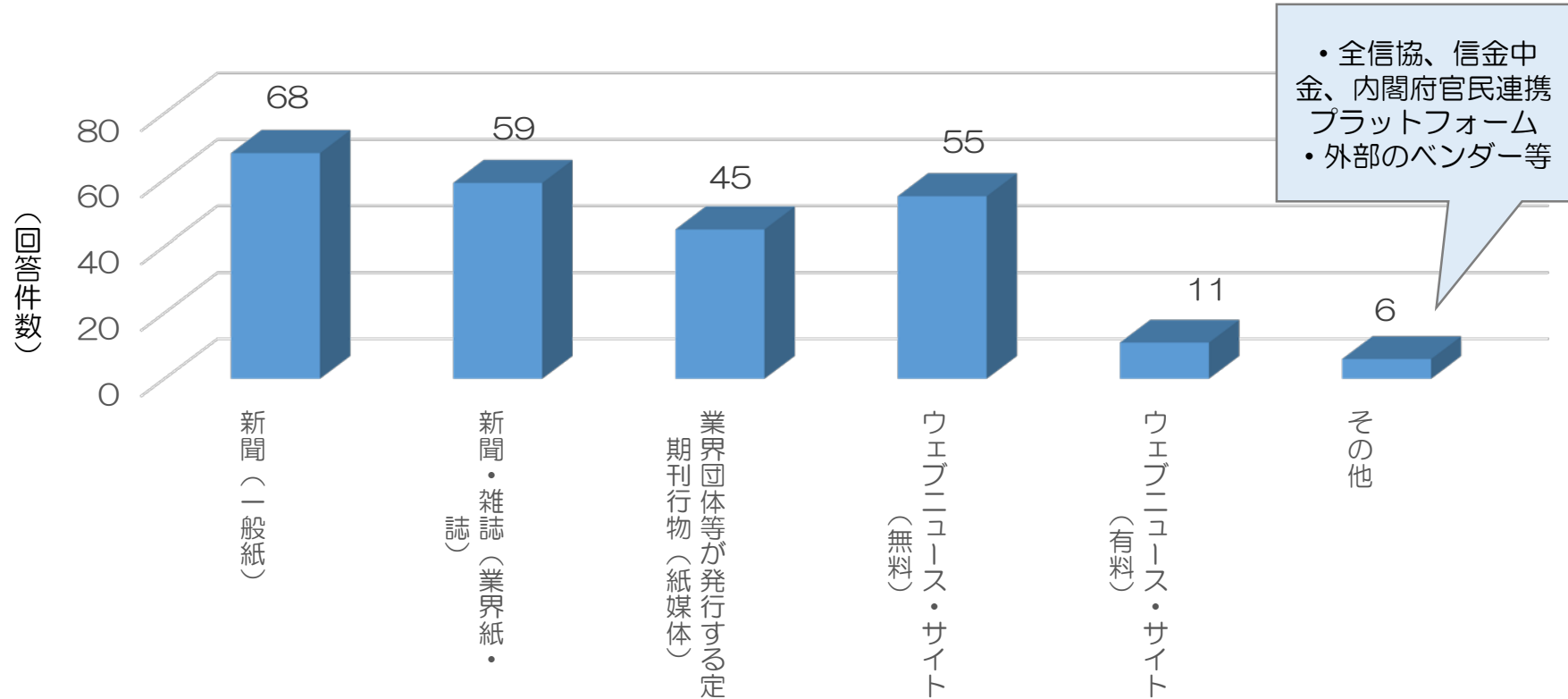
設問4-3 21世紀金融行動原則Webサイトで充実させてほしい、取り扱ってほしいコンテンツやテーマ等があれば教えてください。  
(自由回答/回答者数8名)

- ESG投資の動向等
- ESG金融関連情報を知ることができるプラットフォームが理想。難しいかもしれませんが、例えば竹ヶ原さんや金井さんなど第一人者のコラムがあると当サイトの価値が上がる気がします。最新情報を配信したサイトへのリンクを作っていただだけでもありがたいです。
- 他社の好事例（2名）
- 気候関連 シナリオ分析
- 不動産ファイナンス
- WGの資料等（早目に掲載してほしい）
- メルマガ、海外情報（開示）

# 調査結果：情報収集の手段

●ESG金融に関して、紙媒体と無料のwebサイトで情報収集している人が多かった。

設問4-4 ESG金融に関する情報収集のために使われている情報源を教えてください。（複数選択可/回答者数90名）



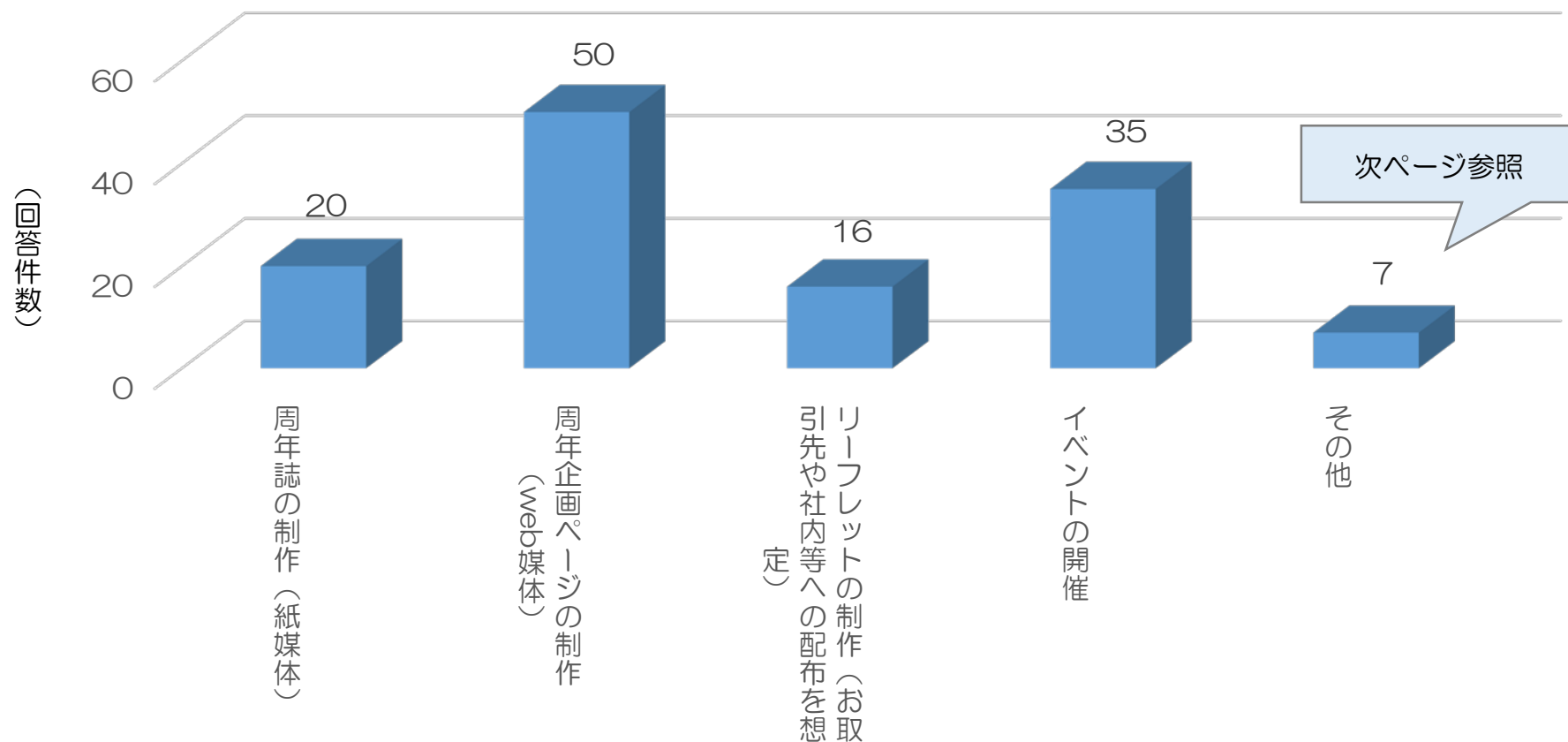
〈情報源の具体的な媒体名〉

- ・日本経済新聞（3名回答）
- ・ニッキン（3名回答）
- ・Sustainable Japan（2名回答）
- ・PRI
- ・UNEPなどの組織のHP、メールサービス
- ・年金情報
- ・グローバルネット

# 調査結果：10周年企画について（1）

●21世紀金融行動原則の10周年企画としては、「周年企画ページ（web媒体）」の希望が最も多く、次いで「イベントの開催」が多かった。イベントに関しては次ページの自由回答で様々な意見があった。

設問5-1 21世紀金融行動原則は2021年に10周年を迎えます。10周年の企画にふさわしいと思うものを全て選んでください。  
（複数選択可/回答者数90名）



# 調査結果：10周年企画について（2）

## ●21世紀金融行動原則の10周年企画の「その他」の回答

・一国においてこれだけ多くの様々な金融機関が自主的に参加するイニシアチブとして世界的に見ても珍しい団体と聞いています。できる範囲で世界へPRするのと、国内の署名機関増加と既存署名機関のモチベーションアップのため、例えば国連など世界的中枢機関とのオンライン対話を動画にしてYoutubeにアップするなどはいかがでしょうか。21C側のメンバーは、末吉さん、竹ヶ原さん、金井さんらをイメージしています。

・新型コロナウイルスが終息しない中でのイベント開催は困難と考えます。例えば、署名金融機関にこれまでの10年をふりかえるアンケート調査を行い取りまとめたり、特徴的な取り組みをしている先を紹介するなど、21世紀金融行動原則の存在意義を発信する周年誌を制作し記録に残すのが良いと思います。

・特に開催しなくてもよいのではと思いますが、もし開催するのであれば、特別セミナーなどの実施。

・コロナ下であるためウェブイベントにするなどの工夫が必要かと思いますが、できれば周年イベント開催が良いと思います。

# 調査結果：その他ご意見

- 21世紀金融行動原則に対して下記のような意見・要望があった。

21世紀金融行動原則に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。（任意/回答者数4名）

- ・今年度、産官学が集う「松山市SDGs推進協議会」が立ち上がるなど、徐々にSDGsへの機運が高まりつつあるので、SDGsセミナーを地域開催してほしい。
- ・弊社の担当者変更に伴い、ウェブサイトに係る登録メールアドレスの変更をご依頼した際に時間を要したことがございましたので、今後はよりスムーズに変更いただけるよう貴事務局内でのプロセスの整理などをお願いできますと幸いです。（対応致します・事務局）
- ・貴機構より頂戴するEメールですが、2020年1月より文字化けし、内容が判別できません。弊社システム環境との兼ね合いとと思われますが、2019年12月以前は文字化けせずに届いていましたので、対応いただけないでしょうか。（対応させていただきました・事務局）
- ・10年前に比して参加企業が増加、温度差もあろうかと思いますが、原点にもどり自発的かつ積極的に各社が集える場となることを期待します。

- 署名しているメリットとして「ESG金融関連の情報収集ができる」「関連するセミナーに参加できる」の回答が多く、署名の理由よりも回答数が多かったため、21世紀金融行動原則の特徴として評価を得ていると考えられる。他に署名・加盟していてサービスの満足度が高い団体等に関しても、情報提供が豊富なことが満足度の高さの理由としてあげられていた。今後、運営委員長、環境省、web拡充TFや各WG座長と相談しながら、より一層の情報提供とセミナーの充実を図っていきたい。また、今後の課題として、署名することのメリットとして「組織内でのESG推進の役に立っている」「取引先・顧客に対するブランディングが強化」されるような活動を進める余地があると思う。
- セミナーの開催方法についてはオンライン開催の希望が最も多かった（65名/95名）。ただ、視聴実績がある回答者は約半数だったため、今後署名機関の関心の高いテーマの検討と参加しやすい環境の整備を進めていきたい。利用できる配信サービスは、Zoomが67%と最も多く、次いで、YouTube 46%、YouTube Live 41%、WebEXとTeamsが40%だった。視聴希望の時間帯は13時台～16時台の間で大きな差はなかった。
- 21世紀金融行動原則webサイトへは月に1回以上アクセスしている人が約3割、3か月に1回以下が約6割と伸びしろがまだまだあると感じられた。コンテンツ案として意欲的な案を多数いただいたので、今後web拡充TFで対応を検討したい。
- 21世紀金融行動原則10周年企画（2021年度実施予定）は、「周年企画ページ（web媒体）の制作」の希望が最も多く、次いで「イベントの開催」の希望が多かった。
- その他ご意見については真摯に受け止め対応したい。